

全国保育実践交流会ニュース(九州地区)

2018年10月号

上半期の活動として

- ① 2017年度総括 4月15日(つぼみ幼稚園・保育園)
- ② 年齢部会・給食部会 5月～7月
- ③ 年長合宿 6月諫早合宿(6月5～7日)9月つぼみ合宿(9月11～13日)
- ④ 年長小地区(縄布遊び交流・リズム交流)
- ⑤ 新人職員リズム研修 6月16日(高取保育園)を行いました。

《新人リズム交流》

新人とは銘打っていますが、新卒職員だけでなく自身のリズムを再度確かめたいと 80余名の保育士が高取保育園にあつまりました。遊びの家の佐久間さん・桜花の蒲池さんが中心となって「さくら・さくらんぼのリズムあそびの目指すもの」「保育者の役割」「各年齢で大切にしたいリズム」「リズムあそびをおこなうときに大切にすること」など確認しました。

その後、基礎のリズムを行い園長達に介助してもらいながら体を実際に動かしリズムを確かめました。



—参加者感想—

- ・介助に入っていたきながらリズムを行う事で、自分でする時には感じられない安定感や終わった後にスッキリする感覚を感じることができた。助言をいただき、意識しながら行くと「よくなってきているよ。」などと声をかけていただき嬉しくなった。これは、子ども達も一緒ではないか感じた。
- ・今回の研修で普段している通りリズムをしたら、肩に力がいっているといってもらい介助して下さることが多かった。それから肩が上がりやすいんだと意識して取り組めたと、自信をもってリズムできた。子どもたちも同じだと思っから、介助してもらったところを意識すること、して貰った介助の仕方を子ども達にもしていき、私も子どもも自信を持ってリズムを楽しめるようにしたいとおもった。そしてリズムにおいて大切にすること・役割の見直しをしてリズムをする必要があるとことを改めておもった。

女の都幼稚園

《布遊びから9月合宿へ》

布裂き・布巻き・色遊び・三つ編みと年長になったらと憧れていた自分だけの縄跳びを作りましたとびたいという意欲が9月合宿の体育館という広い空間で十二分に発揮されました。みるみるうちに上手になって引かかることなく跳び回る子ども達の姿がみられました。

9月の合宿は、側転・縄跳び・跳び箱・ステップなどが入り「わくわく・どきどき」の3日間。＜挑戦と勇気を＞をこころに年長さんらしく自分の体を意識して取り組みました。交流園であるつぼみ幼稚園・保育園に134名の年長さんでお泊りをして生活しました。



—合宿を終えて—

色の組み合わせを選ぶ時、順番を待ちながら友だちの布遊びを見ている子どもたちは、とても真剣でした。やっと出来上がった自分だけの縄跳びを手暇さえあれば跳びまわっていました。そして、体育館での広い場所で思う存分跳ぶことで、連続した滑らかになりさらに楽しかったようでした。

今も散歩にもっていったら、公園で跳びまわったり、川沿いで競争したりして楽しんでます。

年長担任は、初めてなので子どもたちと同じ気持ちでワクワクしながら取り組みました。新しい事を教えてもらう嬉しさと、不安が入り混じった表情の子ども達が「やってみよう」と勇気を出す姿に私も力をもらいました。

安武保育園

吉田佳那子

《関西合宿に参加して》

4日間という私自信初めての長い合宿でした。子ども達のほとんどが1日3食のたっぷりな食事を「おいしい」といって食べこみ生き生きと活動に向かう姿は、とても印象的でした。また、リレーに勝ち一緒に喜んでると、同じチームの子が「でもまだ頑張っている子がいるよ。応援しよう。」と声をかけたり、淋しくなった違う園の仲間に「大丈夫。今日は、自分が隣で寝てあげる。」と言っているのをみて子ども達の心の育ちを肌で感じました。

つぼみ幼稚園・保育園

古賀文子

下半期予定 10月31日～2日 久住合宿です。総勢240名で 久住山に登ります。